

令和2年度 事業報告書  
(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

1. 法人の概要

名称	社会福祉法人 大成会	主たる事務所	千葉県成田市大清水 206-1	代表者	理事長 野村哲也
設立登記年月日	昭和31年11月22日	認可年月日	昭和31年10月31日	認可番号	厚生省千児第223号

2. 法人の行う事業及び当期の特記事項

事業所名	事業種別及び事業名	管理者名	定員
不二学園 (ささえあい)	第一種社会福祉事業 障害児入所施設	木川 雅央	59名
	第二種社会福祉事業 短期入所		15名
	第二種社会福祉事業 日中一時支援	加瀬 正子	7名
	第二種社会福祉事業 相談支援		-
成田市のぞみの園	第二種社会福祉事業 就労継続支援B型	千葉 健彦	50名
	第二種社会福祉事業 日中一時支援		7名
かしの木園	第二種社会福祉事業 生活介護	山形 朝雄	45名
	第二種社会福祉事業 就労継続支援B型		10名
	第二種社会福祉事業 日中一時支援		6名
大成会共同生活事業所	第二種社会福祉事業 共同生活援助	磯田 芳江	37名 サテライト12名
居宅介護ステーションりんご	第二種社会福祉事業 居宅介護	高柳 智	-
	第二種社会福祉事業 行動援護		-
	第二種社会福祉事業 重度訪問介護		-
	第二種社会福祉事業 同行援護		-
	第二種社会福祉事業 移動支援 福祉有償運送		-
大成会受託相談支援事業所	第二種社会福祉事業 相談支援	高柳 智	-
	生活困窮者支援		-
大成会障害児通所支援事業所	第二種社会福祉事業 放課後等デイサービス	高柳 智	30名
	第二種社会福祉事業 児童発達支援		
	第二種社会福祉事業 日中一時支援		10名

社会貢献事業の実施(令和2年度社会貢献費 1,239千円)

従来から法人全体で取り組んでいる社会貢献事業を、より計画的及び効果的に以下の事業を行った。

- 低所得者に対する食事代・光熱水費の減免
- 生活困窮者に対する一時避難場所の提供
- 成田市障害者居住体験事業場所の提供

3. 理事会開催状況

月日	報告又は審議された議案
5月26日	平成31年度事業報告の件、平成31年度決算報告の件、職員への暫定的一時金支給の件、職員への期末手当支給の件、理事選任の件、定時評議員会招集の件、理事長等職務執行状況の件
7月29日	共同生活事業所ホーム追加・契約の件、不二学園非常用自家発電設備の件、かしの木園空気調和設備機能回復工事整備資金借入の件、諸規定改正の件
9月25日	田町土地利用の件、定款変更の件、諸規定改正の件、職員への暫定的一時金支給の件、補正予算の件、評議員会招集の件
11月24日	田町新GHの件、成田市のぞみの園指定管理(民営化)の件、職員への期末手当支給の件、理事長等職務執行状況の件
3月19日	諸規定改正の件、基本財産建物処分の件、業務車両入替及びリース契約の件、コロナ関連お見舞金及び特別勤務手当支給の件、職員への暫定的一時金支給の件、補正予算の件、法人業務車両任意保険更新の件、不二学園非常用自家発電設備設置の件、短期借入金の件、令和3年度事業計画の件、令和3年度当初予算の件、評議員会招集の件

#### 4. 評議員会開催状況

月日	報告又は審議された議案
6月12日 (書面決議)	平成31年度事業報告の件、平成31年度決算報告の件、役員選任の件、理事長等職務執行状況の件
10月17日 (書面決議)	定款変更の件、補正予算の件
3月27日 (書面決議)	基本財産建物処分の件、補正予算の件、令和3年度事業計画の件、令和3年度当初予算の件

#### 5. 監事監査実施状況

開催月日	監査内容
5月14日	法人運営及び財産管理の状況 理事の業務執行状況、理事会・評議員会の審議状況

#### 6. 役員、評議員の状況

役職及び氏名	就任年月日
理事長 野村 哲也	H26.10.19
理事 高柳 智	H24.10.19
理事 山形 朝雄	H26.10.19
理事 鈴木 真希子	H28.10.19
理事 天野 清子	H28.10.19
理事 磯田 芳江	H28.10.19
理事 今井 強	R 2.6.12
監事 平山 隆雄	H20.10.19
監事 伊藤 正彦	H22.10.19

役職及び氏名	就任年月日
評議員 谷 照雄	H13. 7.26
評議員 藤崎 信治	H13. 7.26
評議員 新 直臣	H13. 7.26
評議員 中村 隆	H18.10.19
評議員 金井 和久	H13. 7.26
評議員 時田 幸江	H13. 7.26
評議員 加賀 峰子	H13. 7.26
評議員 鈴木 廣邦	H13. 7.26
評議員 富井 一雄	H13. 7.26
評議員 山田 政吉	H13. 7.26
評議員 鬼澤 和夫	H13. 7.26

#### 7. 職員の状況

職員数	職員	83名
	臨時職員	50名

## (不二学園)

### 1. 事業の内容

#### (1) 生活

就学前児の療育は、身辺処理の自立、身体能力の向上を中心に実施した。言語面では成田市こども発達支援センターの言語聴覚士の方に学園に来て頂き療育を受けた。学齢児に対しては日常生活能力や社会生活能力の向上をはかるために、日課の中で障害特性や年齢に配慮した支援を行った。また、将来に向けて、作業能力を考慮した洗濯、清掃などの作業指導を行ったり、社会経験や情緒の安定等のため、外出の機会を増やした。その他、児童の意見を反映した食事の取り組みや遊具や生活用品の充実化、日課の見直し等に努めた。

#### (2) 健康管理

日常的に手洗いや消毒、オゾン消毒等の対応に努めてきたことで児童のインフルエンザの罹患はなかったが、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、児童22名、職員7名の罹患があった。幸い軽症・無症状で済み、迅速に対応することで拡大を防いだ。この経験を教訓に改めて感染防止対策の徹底を行った。

#### (3) 虐待防止

外部研修への参加及び園内ケース研修を実施し、職員個々の支援の振り返りと虐待や不適切な支援についての共通認識と予防策の研鑽に努めた。

#### (4) 事故防止

ヒヤリハット委員会による事例研修とヒヤリハット調査を行い、事故の軽減に努めた。しかし、他害や自傷、不慮の事故、学校での怪我、無断外出、異性との身体接触などが起きた。

#### (5) 学校教育への対応

三里塚小学校・遠山中学校・富里特別支援学校との連絡調整が円滑に推移するよう努めた。富里特別支援学校との定期的な話し合いや各学校の学級懇談会に参加し、児童の相互理解に努めた。

#### (6) 関係機関との連携

児童相談所やその他の関係機関との連絡を密に取り合い、児童の健やかな成長を目指した。

#### (7) 家庭への支援

本人・保護者の意向を尊重して個別支援計画を作成し、それに基づいて支援を行った。また日頃から保護者と連絡を密にし、信頼関係を築くように心掛け、とりわけ進路等については関係機関を含めて協議を行なった。また保護者会の計画に基づき行事を実施した。

#### (8) 地域社会との連携

地区行事への参加や交流を通して相互理解を深めた。更に行事を通してボランティア育成にも努めた。また地域のニーズに添って短期入所事業や日中一時支援事業に積極的に取り組んだ。

#### (9) 災害対策

今年度は大きな災害はなかったが、定期災害訓練を実施した。また、来年度は非常用自家発電設備を設置し、災害時の停電に対応する。

#### (10) 環境の整備

各寮及び食堂などの清掃・整理整頓に努め、環境美化に配慮した。

#### (11) 職員の資質向上

職員の資質向上のため、園内研修を実施した。また、法人研修や外部研修への参加を積極的に促した。

#### (12) 福祉サービス第三者評価

第三者評価機関の助言を参考に、外出やお金を使う機会を増やす取り組みを行った。

### 2. 児童の状況(定員数:入所59名)

#### (1) 在籍数(各月1日現在)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
措置	男児	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
	女児	19	19	19	19	19	19	20	20	20	19	19	19
契約	男児	8	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	女児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
計		57	58	58	57	57	57	58	58	58	57	57	57

#### (2) 入退所数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	措置	3			1			2						9
	契約	3												
退所	措置		1	1						1			2	8
	契約			1			1						1	

## (3) 年齢別数(令和3年3月31日現在)

(単位:人)

	7歳未満	7～8歳	9～10歳	11～12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳以上	計
男児		5	3	3	3	7	1	6	3	3		34
女児	3	1	3	4	1	3	1	3	1			20
計	3	6	6	7	4	10	2	9	4	3		54

## (4) 障害区分別数(各月1日現在)※重度認定児童数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
措置	国	24	23	23	23	23	23	23	23	23	22	22	22
	県・市	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	非認定	17	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18
契約	県・市	8	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	非該当	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
計		57	58	58	57	57	57	58	58	58	57	57	57

## (5) 就学児童数(各月1日現在)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
富里特別支援学校	小学部	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	中学部	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	高等部	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18
三里塚小学校		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
遠山中学校		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
計		54	54	54	54	54	54	53	53	53	53	53	53

## (6) 短期入所・日中一時支援利用者数(1日あたり定員:空床・併設型&lt;併設型15名&gt;、日中受入7名)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宿泊	91	106	123	205	203	191	180	158	123	74	28	31	1,513
日中	6	3	4	14	26	14	18	22	19	17			143
計	97	109	127	219	229	205	198	180	142	91	28	31	1,656

## 3. 職員の状況(令和2年4月1日現在)

## 職種別職員数

(単位:人)

	施設長	児童発達支援管理責任者	心理指導担当	指導員	保育士	介助員	事務員	栄養士	調理員	看護師	合計	医師	備考
定数	1	1		18		1	1	1	4		27	2	
現員	常勤	1	1	12	16	3	2	1	4		41		
	非常勤					2			2	1	5	2	嘱託医
計	1	1	1	12	16	5	2	1	6	1	46	2	

## 4. 苦情状況(令和2年度 2件)

申出者	内容	解決結果
保護者(短期)	短期利用時の無断外出について、把握をきちんとし欲しい。	状況を説明し謝罪し、トイレ窓に心張棒を設置することで、理解いただく。
保護者(短期)	短期利用児童に対し、入所児童が性的関心から近づこうとしたので、職員が止めようとしたことを、保護者より不安があると苦情があった。	対応について謝罪し、入浴の仕方や余暇の提供を説明し、理解いただく。

## 5. 建物等設備の整備状況

- ・女児寮給湯器修理
- ・食堂テーブルパーテーション設置
- ・女児寮断湯・男児寮水漏れ修理
- ・男児寮空調機5台修理
- ・男児寮静養室強化ガラス修理
- ・井戸ポンプ電磁接触器修理
- ・男児寮大型乾燥機修理
- ・屋外污水蓋修理

6. 行事等実施報告

	行事	職員研修・会議	災害訓練	健康管理	衛生管理他
4月	三小・遠山中入学式 富里特支校入学式	特支校との連絡会議	消防訓練	レントゲン検診 細菌検査	
5月	バイキング 支援計画説明会(電話及び郵送) 富里特支校運動会	児童施設部会 成田市自立支援協議会 集団給食管理者協議会 知協支援スタッフ部会 遠山地区体協総会	消防訓練	細菌検査(月2回)	
6月		遠山地区体協	消防訓練	職員健康診断 細菌検査(月2回)	旧園舎給水設備点検(セコム)
7月	各校終業式 夏季外出 特支校教員施設実習	中央児童相談所グループワーク 相談支援従事者初任者研修 児童発達支援部会施設長会議 特支校との連絡会議 集団給食管理者協議会 重症心身障害者連絡会 遠山中学校との連絡会議 開かれた学校づくり委員会	消防訓練	職員健康診断 細菌検査(月2回) 児童健康診断	水質検査(セコム)
8月	夏季帰省 夏季外出	相談支援従事者初任者研修 自立協地域生活拠点検討会 遠山地区体協会議 特支校教員フォローアップ研修	消防訓練	細菌検査(月2回)	
9月	遠山中体育祭・三里塚小運動会	遠山地区体協会議 安全運転管理者講習会 自立協地域生活拠点検討会	消防訓練 園内研修(防災訓練) 消防点検(セコム)	細菌検査(月2回)	給水設備定期点検(セコム)
10月	食事会(選択旅行代替) 学園ハロウィン	遠山地区体協会議 遠山地区社協 相談支援従事者現任研修	消防訓練 食堂棟電気点検(セコム)	細菌検査(月2回)	害虫消毒駆除 水質検査(セコム)
11月	遠山地区駅伝大会 芋ほり招待 とみよう祭・三小バザー	自立協地域生活拠点検討会 相談支援初任者研修 苦情対応研修 集団給食管理者協議会研修 遠山地区体協会議 門下氏講演	消防訓練	細菌検査 インフルエンザ集団予防接種	
12月	各校終業式 クリスマス会(児童のみ) 冬帰省・冬春外出 年越し	法人職員合同研修 強度行動障害支援者養成研修 集団給食管理者協議会 特支校との連絡会議	消防訓練	児童健康診断 職員健康診断 細菌検査	成田市水質検査
1月	初詣 冬春外出 ゆうあいピック駅伝大会	自立協地域生活拠点検討会 児発管研修 遠山地区体協会議	消防訓練	職員健康診断 細菌検査 保健所巡回指導	
2月	特支校小中入学説明会			細菌検査 PCR検査	
3月	各校卒業式 各校終業式 冬春外出 1年を振り返る会(児童のみ)	特支校との連絡会議 自立協地域生活拠点検討会	消防訓練	細菌検査	害虫消毒駆除 受水槽清掃 貯水槽清掃 水質検査(セコム)

(ささえあい)

1. 事業の内容

<指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業>

障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決やサービス利用に向けた支援の調整を行うことを目的として、平成24年度に事業が始まった。令和2年度は191名(児45名、者146名)の方が利用登録されていて、新規の方も児童を中心に徐々に増えている。また成田市在住の方が大半で、成人はのぞみの園とかしの木園に通所されている方の割合が高い。また児童は福祉サービスの種類が少ないこともあり、放課後等デイサービスの利用を中心とした計画作成を行っている。その他、傾聴や助言、病院や施設等への同行、関係機関との連絡調整等を行っている。

2. 利用者の状況

(1)成人

(単位:人)

	計画相談(新規)			モニタリング(継続)			計画相談(継続)			計
	かしの木	のぞみ	他	かしの木	のぞみ	他	かしの木	のぞみ	他	
成田	2	1	2	12	20	8	28	55	25	153
八街							4		1	5
富里				2		1	3			6
芝山			1			1	3		1	6
他			2	3		3	6		6	20
計	2	1	5	17	20	13	44	55	33	190

(2)児童

(単位:人)

	計画相談(新規)			モニタリング(継続)			計画相談(継続)			計
	放課後等	短期・日中	他	放課後等	短期・日中	他	放課後等	短期・日中	他	
成田	2		6	7		3	12		11	41
八街				5			5			10
富里										
芝山							6		1	7
他							2			2
計	2		6	12		3	25		12	60

3. 職員の状況(令和2年4月1日現在)

相談支援専門員(兼務)

(単位:人)

		管理者	不二	かしの木	のぞみ	障害児通所	計
現員	常勤	1	6	2	3	1	13
	非常勤						
計		1	6	2	3	1	13

# (のぞみの園)

## 1. 事業の内容

### (1) 個別支援の重視

新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な制約があるなか、年2回の個別面談に基づく個別支援計画に沿って、個々の希望や特性に出来るだけ合わせて仕事の提供を行った。どの利用者も日々生き生きと仕事に取り組めるような支援に努めた。今年度は緊急事態宣言発出に伴い、利用自粛をお願いしたため、年間89%の出勤率(通常営業日のみ)となった。

### (2) 生活の充実

新型コロナウイルス感染症拡大による経済状況の悪化が影響し、大口受注先の業務停止等が大きく響き、十分な作業量を確保することができなかった。また、スポーツ活動については、年間を通じてすべての活動がなかった。休日営業は、緊急事態宣言発出や感染拡大による中止もあったが、周りの染状況を見つつ、年間12回開催することができた。

### (3) 送迎の実施

3ルートで運用をした。利用は1回(片道)平均約10名程度であった。

### (4) 就労の促進

新型コロナウイルス感染症拡大により就職面接会や企業説明会等は、中止もしくはオンライン開催となった。今年度は一般就労者を出すことはできなかったが、一般就労を希望する利用者への支援は継続しており、施設外就労等を通して利用者の働くことに対する意識の強化に努めた。

### (5) 地域での安心した生活

緊急事態宣言の発出により、保護者会総会が中止となったが、保護者や関係機関との連絡を密にする事を心がけ、問題の早期発見・早期解決に努めた。ボランティアの受入等については、感染症拡大防止の観点から例年通りの活動ができなかったが、地域のごみ拾い等を継続し、地域の方々の障がいへの理解促進に努めた。災害対策としては、避難訓練の利用者・職員全員での実施を避け、職員全体で避難経路や非常通報の方法を確認した。また、日頃より避難経路の整理整頓を心がけ、非常時には速やかに避難できる体制を整えた。その他、利用者に将来の自立した生活を意識していただけるよう働きかけ、相談支援専門員と連携して、複数の福祉サービスを利用しながら地域で安心した生活を送れるよう支援した。

### (6) 適切な支援の強化

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、対面での外部研修には極力参加せず、園内研修として権利擁護・虐待防止の利用者支援に必要な研修に参加してもらい、それを施設内で共有し職員の資質向上に努めた。今後も職員全員の十分な理解と実践に結び付けるべく継続的に研修を重ねていく必要がある。

### (7) 日中一時支援事業等

一般利用の他に特別支援学校高等部生徒の進路選択体験として、日中一時支援事業で実習時に利用をして頂いた。

## 2. 利用者の状況(定員数:50名)

### (1) 在籍数(各月1日現在)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	26	26	26	28	28	28	28	28	28	28	28	28
女性	22	22	22	22	22	23	23	23	23	23	23	23
計	48	48	48	50	50	51	51	51	51	51	51	51

### (2) 入退所数(各月)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所			2			1	1						4
退所						1							1

### (3) 年齢別数(令和3年3月31日現在)

(単位:人)

	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	計
男性		1		2	5	8	7	5	28
女性			2	1	7	6	3	4	23
計		1	2	3	12	14	10	9	51

### (4) 障害区分別数(各月1日現在)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
最重度	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
重度	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
中度	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
軽度	7	7	7	8	8	9	10	10	10	10	10	10
その他	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3	3
計	48	48	48	50	50	51	51	51	51	51	51	51

(5) 日中一時支援延べ利用者数(1日当り定員数:日中受入7名)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日中	2	1	1	2	1	3	4	2	4	7	5	6	38

## 3. 職員の状況(令和2年4月1日現在)

職種別職員数

(単位:人)

		管理者	サビ管	支援員	指導員	事務員	栄養士	調理員	就労支援	計	備考
定数		1	1	7						9	
現員	常勤	1	1	8		1	1	1	1	14	
	非常勤							1	2	3	
計		1	1	8		1	1	2	3	17	

## 4. 苦情状況(令和2年度 2件)

申出者	内容	解決結果
保護者	利用自粛期間中の電話連絡の際に、職員の発言内容が不快だった。	言葉の選び方ひとつで思わぬ誤解を生むことやこちらの意図が一切伝わらないことを全職員と確認をし、より丁寧な対応を心がけることを徹底する。
利用者	廊下ですれ違った際に職員から進路をふさがれた。また、昼食の下膳時にトレイでたたくかれそうになった。	ご本人より詳しい状況を聞き、謝罪と改善を約束する。当該職員に対しても状況を聴取、ご家庭に状況を報告。成田市に虐待事案(心理的虐待)が発生した旨を報告し、事業所全体に継続した権利擁護研修を実施。当該職員に対しては、研修の他に日々の業務の中で利用者一人ひとりの理解を深めていくことを課題としたOJTを徹底する。

## 5. 建物等設備の整備状況

- ・本館雨漏り対策のため、雨どい配管改修(成田市)
- ・本館非常用照明交換(成田市) ・本館1階男子トイレ、2階女子トイレ改修(成田市)
- ・本館相談室照明交換

## 6. 行事等実施報告

	行事	職員研修・会議	災害訓練	健康管理	衛生管理他
4月		運営会議(毎月) チーム会議(毎月) 役職会議(毎月) 評価会議(毎月)		身体測定(毎月)	細菌検査(毎月)
5月					館内害虫駆除消毒
6月	個別支援計画面談				
7月					館内ワックスがけ 空調設備点検
8月				胸部X線撮影(利用者,職員)	
9月		園内研修(虐待防止)		利用者健康診断	消防設備点検
10月	個別支援計画面談	園内研修(虐待防止)		インフルエンザ予防接種	
11月		苦情解決研修 園内研修(虐待防止)	避難訓練(職員)		館内害虫消毒駆除 館内ワックスがけ
12月	利用者忘年会	千葉知協施設長研修 千葉県福祉法人合同研修(オンデマンド) 千葉県災害福祉支援チーム研修 園内研修(虐待防止)			調理場換気扇清掃
1月	成田市指定管理実地調査	千葉県福祉法人合同研修(オンデマンド) 千葉県虐待防止・権利擁護研修(オンデマンド) 園内研修(虐待防止)			空調設備点検
2月		園内研修(虐待防止)			
3月	利用者納会				館内ワックスがけ 消防設備点検



7. その他

(1) 就労支援事業収入 (単位:千円)

	令和2年度	平成31年度	対前年比
受託	9,594	16,946	56.6%
自主生産	17,591	33,718	52.2%
計	27,185	50,664	53.7%

(2) 利用者作業工賃配分金 (単位:円)

	令和2年度	平成31年度	対前年比
月額平均	5,445	23,966	22.7%

※賞与を含む



## (2) 入退所数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生活介護	入所	1	1											2
	退所									1				1
就労継続	入所													
	退所			1		1								2

## (3) 年齢別数(令和3年3月31日現在)

(単位:人)

		18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	計
生活介護	男性	3	7	7	13	2	1	1	1	35
	女性		4	5	5	1	1		3	19
	計	3	11	12	18	3	2	1	4	54
就労継続	男性			2	1		1		2	6
	女性	1		1			2	1	1	6
	計	1		3	1		3	1	3	12

## (4) 障害区分別数(各月1日現在)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活介護	区分6	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8
	区分5	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	区分4	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	21
	区分3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5
	区分2												
	計	54	55	55	55	55	55	55	55	55	55	54	54
就労継続	区分4												
	区分3												
	区分2												
	無	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12
	計	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12

## (5) 日中一時支援利用者数(1日当たり定員数:生活介護4名・就労継続支援B型2名)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生活介護		10	10					4						24
就労継続							19							19

## 3. 職員の状況(令和2年4月1日現在)

## 職種別職員数

(単位:人)

		管理者	サビ管	支援員	事務員	栄養士	調理員	看護師	就労支援	計	医師	備考
生活介護	定数	1	1	10			1	1		14	1	
	現員	常勤	1	1	9		1			12		
		非常勤			6			2	1	9	1	嘱託医
	計	1	1	15		1	2	1		21	1	
就労継続	定数	1	1	1					1	4		
	現員	常勤	1	1						2		管理者兼務
		非常勤			1					2	3	
	計	1	1	1					2	5		

## 4. 苦情状況(令和2年度 0件)

## 5. 建物等設備の整備状況

空調設備更新等修繕

## 6. 行事等実施報告

行事		職員研修・会議	災害訓練	健康管理	衛生管理他
4月	花見会(中止)	県障害関係施設長会議(中止)		身体測定(毎月)	リサイクル・細菌検査(毎月)
	ウォーキングクラブ(毎日)	ケース・作業・給食・職員会議(毎月)		結核健診	浄化槽保守点検(毎月)
	小遠足(中止)	園内研修			エレベーター点検
5月		支援スタッフ部会(中止)	消防訓練(中止)		エレベーター点検
		陸上競技委員会(中止)			
		TEACCH セミナー(中止)			

6月	あじさい祭り(中止)	TEACCHセミナー(中止) 安全管理者講習			害虫消毒駆除
7月		てんかん基礎講座(中止)			
8月		TEACCH セミナー			
9月		中堅職員研修会(中止)	三里塚消防署査察(中止) 消防訓練(中止)		
10月	成田市健康福祉まつり(中止) 1泊旅行(中止)	TEACCH セミナー(中止)		インフルエンザ予防接種	エレベーター点検
11月	1泊旅行・小旅行	地域支援委員会(中止) 施設見学研修会(中止)	消防訓練(中止)		浄化槽法定点検
12月	餅つき(中止) 利用者忘年会	支援スタッフ部会(中止) TEACCH セミナー(中止)			大掃除
1月	ゆうあいピック駅伝大会				エレベーター点検
2月	手をつなぐ作品展(中止)	こうさいセミナー(中止)		職員健康診断	貯水槽清掃 害虫消毒駆除
3月		管内栄養士会研修(中止)	消防訓練	利用者健康診断	水質検査 浄化槽清掃

## 7.その他

### (1) 就労支援事業収入

(単位:千円)

	令和2年度	令和1年度	対前年比
受託	4,570	9,696	47.1%
自主生産	232	424	54.7%
計	4,802	10,120	47.5%

### (2) 利用者作業工賃配分金

(単位:円)

	令和2年度	令和1年度	対前年比
月額平均	7,242	21,487	33.7%

※賞与を含む

(りんご)

1. 事業の内容

(1) 事業の方向性

サービスの提供地域は3市4町であり、成田市内在住及び近隣の方々の利用ニーズを最優先に考え、緊急性のあるものはその場で対応できるように、法人内事業所兼務ヘルパーの調整に努めた。通院介助、家事援助や外出支援の他、レスパイトサービスで送迎やガイドヘルプも実施し、既存外の法人独自のサービスも提供しながら、細かいニーズにも一つ一つお応えできるよう心がけながらサービスを提供し、喜びを感じて、また利用したいと思ってくれる事業所を目指した。

(2) 利用の様態

ホームヘルプサービスは、国事業の介護給付費による居宅介護・同行援護・行動援護・重度訪問介護の各事業と市町村事業による移動支援事業・生活サポート事業を提供している。主として居宅介護事業では家事援助・通院等介助・身体介護のサービス提供と同行援護・行動援護・移動支援の各事業のサービス提供を実施した。同行援護・行動援護・移動支援事業などは、有償運送を伴う付添が多く、知的障害の方は外出や余暇支援、身体障害の方は通院介助・外出支援が主流である。外出では、日用品の購入も多く、定期的な利用をされる方が多い。精神障害の方では定期的な家事援助の利用が多い。精神障害・身体障害の方では、様々なサービスを組み合わせて利用されている方がおり、その時々でご希望のサービスを利用されている。新型コロナウイルスによる自粛で、家事援助による買い物の依頼が増えた。

2. 利用者の状況

(1) 利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障害児	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
知的障害者	3	10	13	18	18	19	18	27	24	23	18	20	211
身体障害者	6	4	8	8	8	8	8	9	9	9	8	7	92
精神障害者	3	6	6	6	6	6	6	7	6	6	8	9	75
計	15	22	30	34	34	35	34	45	41	40	36	38	404

(2) 提供時間数(利用者別)

(単位:時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障害児	8.00	6.00	9.00	13.50	13.00	13.50	15.00	16.00	15.50	16.00	4.00	10.50	140.00
知的障害者	8.00	35.50	46.50	61.50	62.50	55.50	63.50	82.50	83.50	84.00	58.00	66.00	707.00
身体障害者	45.25	38.00	61.00	31.00	67.75	67.50	30.50	49.50	45.50	41.50	33.25	35.00	545.75
精神障害者	24.75	17.25	12.00	31.25	26.50	31.25	34.50	23.25	25.25	25.75	29.50	32.25	313.50
計	86.00	96.75	128.50	137.25	169.75	167.75	143.50	171.25	169.75	167.25	124.75	143.75	1,706.25

(3) 提供時間数(サービス種別)

(単位:時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
移動支援	27.00	38.00	47.00	53.50	83.00	71.50	87.50	105.00	110.50	94.50	68.50	73.50	859.50
同行援護	16.50	22.00	42.00	39.00	46.50	41.00	8.00	19.00	17.00	20.50	21.00	21.50	314.00
身体介護	10.50	6.00	7.50	8.00	8.50	11.50	9.50	10.00	9.50	10.00	4.00	14.50	109.50
家事援助	21.50	17.75	23.00	22.75	21.25	29.75	24.00	21.25	19.75	20.25	21.75	22.75	265.75
通院介助	10.50	13.00	7.50	10.00	8.50	9.50	9.50	11.50	8.00	14.50	5.50	9.00	117.00
行動援護	0.00	0.00	1.50	4.00	2.00	4.50	5.00	4.50	5.00	7.50	4.00	2.50	40.50
生活サポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	86.00	96.75	128.50	137.25	169.75	167.75	143.50	171.25	169.75	167.25	124.75	143.75	1,706.25

3. 職員の状況(各月1日現在)

※()内は兼務職員数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
介護福祉士	1(3)	1(3)	1(3)	2(4)	2(4)	1(3)	1(3)	1(3)	1(3)	1(3)	1(3)	1(3)	
ヘルパー1級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパー2級	0(22)	0(22)	0(22)	0(21)	0(21)	0(21)	0(21)	0(21)	0(21)	0(21)	0(21)	0(21)	
計	1(25)	1(25)	1(25)	2(25)	2(25)	1(24)	1(24)	1(24)	1(24)	1(24)	1(24)	1(24)	

4. 苦情状況(令和2年度 1件)

申出者	内容	解決結果
利用者	請求金額の間違いや、サービス提供責任者の口調がきついで、改めて欲しい。	管理者が請求書を必ず確認すること、口調等に気を付けることで、理解を得た。

5. その他

- ・新規兼務ヘルパー福祉有償運送研修受講
- ・有償運送運転者適性検査実施

## (共同生活事業所)

### 1. 事業の内容

#### (1) ひとりひとりの暮らし方の尊重

聞き取り等を丁寧に行い、利用者ひとりひとりの希望を最大限に盛り込んだ個別支援計画書を作成し、支援を行った。又、スタッフ会議を最低でも月1回は必ず開催し、連絡ノートや携帯電話等を活用する等、報告・連絡を密に取り合うことで、全職員が共通認識をもって支援にあたることができた。その結果、どのホームにおいても、利用者ひとりひとりが尊重され、安心・満足していただける生活を提供することができた。

#### (2) 権利擁護

管理者やサービス管理責任者が頻繁にホームを訪問し、職員と直接話しをしたり、利用者の様子を直接見ること、閉塞感をなくし、利用者の人権が侵害されることのない支援環境作りを行うことができた。

#### (3) 健全な金銭管理

月毎に収支報告書を作成し、収支報告書と通帳を照合することで、利用者のお金を適正に管理することができた。又、利用者ひとりひとりのニーズや経済状況に合わせた支出を心掛け、利用者の財産を守るという視点も忘れずに支援を行った。

#### (4) 職員の資質の向上と処遇改善

新しいホームが事業を開始し、職員が増え、知的障害や精神疾患をお持ちの方たちと接することが初めてだったり、専門知識を学んでいない職員が多くなったので、スタッフ会議や職員ひとりひとりと直接話しをする機会を通して、障害に対する知識や支援技術などを、できる限りわかりやすく伝えるよう心掛けた。

#### (5) 保護者との連携

ホームでの様子を随時報告するよう心掛け、支援にあたっては必ず保護者に相談するようになった。常に、利用者の様子が保護者にわかるように務めた結果、保護者から信頼していただけるようになり、要望なども遠慮なく言っていただけになった。

#### (6) 苦情・相談

利用者や保護者からの苦情や相談には、迅速に丁寧に対応するよう心掛けた。

#### (7) 地域社会との連携

日頃から挨拶等を心掛け、地域の中で普通に生活することで、地域の中に自然と溶け込み、地域住民として生活することができた。

#### (8) 就労支援

就労しているほとんどの方が就労から数年が経過し、離職したり、離職を希望する利用者が増えてきたが、次のステップに向け、利用者に寄り添い、支援を行った。

#### (9) 自活支援

サテライト利用者やサテライトを希望する利用者にはひとり暮らし移行に向けて支援を行った。

#### (10) 安全な暮らしの場の提供

年2回、防災訓練を実施した。又、室内の掃除と消毒、手洗いうがいの励行等、感染症や流行性の疾患、食中毒等の予防に努めた。特に、今年度は新型コロナウイルス感染症が流行し、未だ流行が収束していない状況の中、新型コロナウイルス感染症予防を徹底した。

#### (11) 関係機関・専門職との連携

関係機関、特に市の障がい者福祉課や社会福祉課への報告・連絡・相談を密に行うことで、担当者や顔や名前のわかる関係を築くことができ、それによって、業務がスムーズに行えた。又、成年後見人を選任する利用者が増えてきており、成年後見人との信頼関係構築にも努めた。

#### (12) 節約とエコ

節水、節電等、節約に努めたが、ホームでの節水、節電の難しさを実感した。

#### (13) 事業所経営の安定化

空室をださないよう心掛け、常に定員を満たすことができた。

#### (14) 重度利用者の受け入れ

国の方針に従い、重度利用者を積極的に受け入れた。又、それに見合う支援体制を確保した。

### 2. 利用者の状況(定員数:37名 サテライト12名)

グループホーム37名 サテライト型4名

障害区分別数(令和3年3月31日現在) (単位:人)

区分6	3
区分5	6
区分4	16
区分3	4
区分2	10
区分1	1
非該当	1
計	41

3. 職員の状況(令和2年4月1日現在)

職種別職員数

(単位:人)

		管理者	サビ管	生活支援員	世話人	計
定数		1	2	4.4	8	15.4
現員	常勤	1	2	0.7	3	6.7
	非常勤			3.7	5	8.7
計		1	2	4.4	8	15.4

4. 苦情状況(令和2年度 0件)

5. 建物等設備の整備状況

・本三里塚ホーム事業開始(令和2年11月1日)

(受託相談支援事業所)

《成田市障がい者相談センター》

1. 事業の内容

平成19年10月から成田市が設置する障害者相談支援事業の委託を受け、成田市内に在住する障害者や、ご家族の意向を尊重しながら必要な援助を行い、障害者の自立と社会参加の促進を図った。また、平成26年4月から基幹型相談支援事業所となった。

(1) 障害者相談支援事業

訪問、来所、電話、同行等で療育、就労、医療、住まい、年金、手帳取得など生活全般について相談を受けた。

(2) 福祉サービスの利用援助

ホームヘルプ、短期入所、通所、入所、グループホームなどの情報提供を行い、利用に繋いだ。

(3) 社会資源を活用するための支援

利用者のニーズに基づいた問題解決を図り、地域の中にある社会資源を活用した。また、福祉サービス事業所、学校、病院、ハローワーク、福祉団体、ボランティア、近隣の方々との連携や調整に努めた。

(4) 社会生活力を高めるための支援

余暇支援やボランティア活動の紹介等を通して、生活技術の向上や社会参加の促進を図った。

(5) 権利の擁護のために必要な援助

成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用に向けての支援を行った。

(6) 専門機関の紹介

病院、千葉県発達障害者支援センター、成田市教育センターなどに関する情報提供を行った。

(7) 住宅への入居支援

UR住宅や公営住宅の空き情報の提供、不動産店への同行を行った。

(8) 成田市地域自立支援協議会の運営

事務局として総会や幹事会を主催し、4つの専門部会(就労部会・児童部会など)の運営をサポートした。

(9) 基幹型相談支援事業所として、市内相談事業所の育成・指導

困難事例の事例検討などを行ない、相談支援専門員のレベルアップを図った。

2. 利用者の状況

(1) 相談件数(サービス種別)

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問	8	4	54	57	51	17	20	20	16	9	3	17	276
来所	5	16	21	14	20	19	18	17	15	14	14	15	188
同行	6	4	2	6	10	6	11	5	3	9	3	2	67
電話	61	94	130	127	104	73	80	54	57	63	66	62	971
その他	172	103	198	201	177	187	224	231	204	143	118	159	2,117
計	252	221	405	405	362	302	353	327	295	238	204	255	3,619

(2) 相談件数(利用者別)

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体障害者	6	7	63	36	27	36	108	65	22	48	16	13	447
知的障害者	77	68	97	180	134	143	107	174	101	53	51	94	1,279
精神障害者	161	133	208	172	202	158	233	141	192	177	126	137	2,040
発達障害者	21	9	25	16	12	7	7	3	23	28	10	10	171
その他	7	24	46	39	27	18	14	16	8	14	18	26	257
計	272	241	439	443	402	362	469	399	346	320	221	280	4,194

※重複障害はそれぞれ計上

3. 職員の状況(令和2年4月1日現在)

職種別職員数

(単位:人)

	管理者	相談支援員	計
定数	1	2	3
現員	常勤	2	2
	非常勤	1	2
計	1	3	4

4. 苦情状況(令和2年度 3件)

申出者	内容	解決結果
利用者	高齢者の相談は受けたくないのか	制度を説明し、地域包括支援センターを案内する。
利用者	訪問は事前に知らせてもらいたい。	事前に電話か手紙で予約することとした。
関係機関	早く家探しをしてもらいたい。	物件が限られている旨を説明し、了解を得る。



## 《暮らしサポート成田》

### 1. 事業の内容

平成27年4月から生活困窮者自立支援法が施行され成田市から業務を受託「暮らしサポート成田」として成田市社会福祉協議会との共同体で成田市商工会館に事業所が開設された。生活や仕事への不安や悩みごとなど多様な相談を受け、ワンストップ型の相談窓口として広く情報提供を行い、暮らしの自立に向け早期支援に努めてきた。

#### (1) 周知広報

市民には市のホームページ、区长回覧での定期的な事業周知を続けることで事業が周知されつつあり、身近に暮らしの相談窓口として多くの方が利用されている。また全国社協6月号の広報紙に当事業所の活動を掲載、記事を読まれた関係者から暖かい励ましの声もいただいた。生活に困ったらすぐ当事業所の名前を思い出してもらえるよう、事業の周知と広報に今後も力を入れていく。

#### (2) 自立相談支援事業

新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が出されるなど働く環境の厳しさが増し、緊急性のある生活相談が多く寄せられ、その対応と手続きに追われた。見通しの立たない生活への不安がより深刻な状況の中で、どう生活を維持していけるかを相談者と一緒に考えながら、家賃の助成制度(住居確保給付金)のサポートや他の支援制度の提案や支援に対応した。今年度の新規相談者数は、1,480名(月平均123名)、と相談者数は例年にない多さに激増。その相談の内容も新型コロナウイルスの影響による生活相談が大半を占めた。特に住居確保給付金については、コロナ支援策の有効な制度として全国的に広く周知広報されたことで多くの方が制度利用を望まれ相談に来られ、現職員体制では支援の手が回らず法人内事業所から応援職員を派遣してもらい必要な支援やサポートを職員総力をあげ対応した。

#### (3) 社会資源を活用するための支援

新型コロナウイルスの影響により住まいや日々の生活にも困る方が増えた。住まいについては栄町安食にある住宅確保要配慮者居住支援法人と連携することにより住まいの情報を早く行えるようになり、住まいの調整がよりタイムリーに進められるようになった。また、地元の市民や地元企業の方から善意の食糧寄付を受け、年末など一時的に生活が厳しい方への緊急的な一時支援として有効に食糧支援を行えたことで相談者の生活の維持につなげることができた。

#### (4) 社会生活力を高めるための支援

毎月1回、もりんぴあこうづで開催をしているフリーサロンは、新型コロナウイルスの影響で年6回の開催にとどまったが、様々な事情で心に不安を抱えた若者たちが年間で21名の方が参加された。お互いに思いを語り合う中で、ボランティア活動に参加したり、通信制大学に入学したりと新しい一歩を踏み出す方も出てきた。またホームページ等を通じての参加問い合わせもあり、活動も定着した。

#### (5) 就労準備支援事業

新型コロナウイルスの感染が広がる中で支援を望まれる方や対象となる方の相談も無く、感染への不安もあり積極的な働きかけも行っていない。また、就労体験先の開拓を進めていく方向であったが、新型コロナウイルスの影響により企業や会社は生産や人を減らして経営しているなど厳しい状況にあり話しを進められる状況ではなかった。市内の感染状況を踏まえ、ひとりでも多くの方が就労自立につながるよう個々に合わせた支援を可能な限り行った。

#### (6) 生活困窮者等住まい提供事業(幸町ルーム)

大雨による土砂崩れで家の倒壊の恐れがあった方が市営住宅に緊急入居したが、その家に車が突っ込んだ。幸いにも怪我は無かったが寝具が使えなくなり、寝具の提供を行った。新型コロナウイルスの拡散防止のため事業利用は行っていない。

#### (7) 印旛地域生活困窮者自立支援事業ネットワーク協議会

新型コロナウイルスの感染拡大で、各相談機関とも、感染防止や相談内容が多様化する中、今までと違った地域の課題が表面化した1年であった。広域のネットワーク協議会では、今年度、新型コロナウイルスの影響により学習会がZOOM会議で2回開催、情報交換や困難ケースの検討等を行った。

### 2. 利用者の状況

#### (1) 相談件数

(単位:日、人、件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口開設日	21	18	22	21	20	20	22	19	23	19	18	23	246
新規相談者	150	182	210	119	113	285	103	53	49	61	85	70	1,480
延べ相談者	466	678	719	613	461	568	534	395	401	457	440	533	6,265
プラン件数	15	19	11	5	14	8	6	9	12	10	31	13	153
(新)住居確保給付金	14	59	46	24	11	8	4	1	1	7	9	3	187
(延)住居確保給付金	14	71	104	113	100	81	71	56	48	46	48	40	792

## (2)新規相談者(性別)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	77	95	109	71	68	182	66	33	29	26	48	33	837
女性	73	87	101	48	45	103	37	20	20	35	37	37	643
計	150	182	210	119	113	285	103	53	49	61	85	70	1,480

## (3)就労支援状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就労計画者	8	6	6	2	9	6	3	5	8	7	28	11	99
(内)就労開始者	1	-	2	1	1	1	1	2	2	1	1	2	15
計画外就労開始者	5	4	1	2	4	2	2	3	1	6	4	1	35
就労準備者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 3. 職員の状況(令和2年4月1日現在)

職種別職員数

(単位:人)

		(主任)相談支援員	就労支援員	計
定数		3	2	5
現員	成田市社会福祉協議会	3		3
	大成会		2	2
計		3	2	5

※応援職員あり(R2年5月より)

## 4. 苦情状況(令和2年度 0件)

## 5. 支援調整会議

開催状況

(単位:日、件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日	書面	書面	17	15	19	16	21	18	16	書面	書面	書面
プラン件数	15	19	11	5	14	8	6	9	12	10	31	13

## (障害児通所支援事業所)

### 1. 事業の内容

放課後等デイサービス「本城ルーム・幸町ルーム・すずらん」においては、契約者が増え1日あたりの利用者も増えた。幸町ルームの就学前児童に対する児童発達支援サービスは利用希望者が無く、今年度も休止とした。幸町ルーム・本城ルームにおいては放課後等デイサービスで対応できない場合は地域生活支援の日中一時支援サービスで対応し、障害を問わず急な受け入れにも可能な限り対応し、児童それぞれに合わせた様々な活動に取りくめるよう考慮及び配慮しながら支援を行った。また対応が困難な児童や情緒・精神面での支援を必要とする児童には、家庭はもちろんのこと、必要に応じて学校や行政機関及び他事業所との連絡・調整等を行った。今年度は緊急事態宣言の発令の影響で利用を控える家庭が増えて、3事業所ともに4月、5月は利用者数が前年度を下回ったが、6月以降は回復した。

#### (1) 日常生活の向上

個別支援計画に基づいて、個々のニーズや現状に合わせた支援を行った。手洗いやうがい・コロナウイルス感染予防・排泄・食事・余暇支援などの他、多感な時期である児童の情緒面・精神面など心の支援にも留意した。

#### (2) 社会生活の向上

集団生活の中で他者と交流することにより、意志疎通や思いやりの心を学んだり、戸外活動(公園での遊び・散歩・買物等)を通して、ルール・危険認識や回避・買物の仕方などを習得できるように支援を行った。

#### (3) 楽しい活動の提供

学校と自宅の中間地点として、児童のニーズに合わせて様々な活動を提供し、楽しく充実した時間を過ごしてもらうよう取り組んだ。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で制限があったが、室内活動(玩具・ビデオや音楽鑑賞・絵画制作・おやつ作り等)、戸外活動(公園遊び・散歩・ドライブ・買物等)を提供し、自ら活動を選択することにより、充実した豊かな時間が過ごせるように児童の気持ちに寄り沿った支援を行った。また職員の人員配置にも配慮を行い、事故防止等の安全面に留意した。

#### (4) 安全への配慮

毎日の送迎車両の点検実施等で安全運転に努めた。また感染症予防の為、室内の消毒・換気を毎日行った。

#### (5) 地域社会との交流

新型コロナウイルス感染症の影響で地域行事への参加は自粛したが、利用可能な地域の社会資源(公園・図書館・運動施設等)を活用して、地域に根ざした活動に努めた。

### 2. 利用者の状況(定員数:30名)

(単位:人、日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本城ルーム	104	56	232	211	193	215	228	204	213	174	131	195	2,156
幸町ルーム	74	64	161	143	141	153	161	157	164	130	136	167	1,651
すずらん	60	46	169	168	171	184	191	174	171	163	112	187	1,796
計	238	166	562	522	505	552	580	535	548	467	379	549	5,603
平均利用者数(日)	11.3	9.2	22.5	21.8	23.0	24.0	23.2	23.3	23.8	21.2	21.1	22.0	20.8
開所日数(3ヶ所平均)	21	18	25	24	22	23	25	23	23	22	18	25	269

### 3. 職員の状況(令和2年4月1日現在)

職種別職員数

(単位:人)

		管理者	児童発達支援 管理責任者	児童 指導員	保育士	合計	備考
定数		3	3	6		12	
現員	常勤	3	3	5		11	
	非常勤			8		8	
計		3	3	13		19	

### 4. 苦情状況(令和2年度 1件)

申出者	内容	解決結果
保護者 (本城ルーム)	「本城ルームに行きたくない」「特定の職員が苦手」等の訴えが子供よりあり、対応してほしい。	状況に応じて利用回数の変更や活動を通して職員との信頼関係を構築していく事を説明して、納得して頂いた。

### 5. 建物等設備の整備状況 0件